

# 編 修 趣 意 書

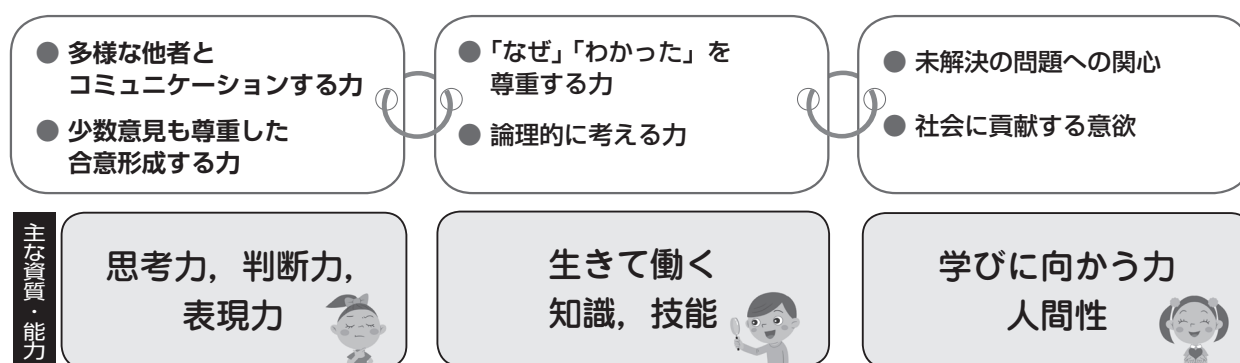
(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-108	小 学 校	理 科	理 科	4 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 403	みんなと学ぶ 小学校理科		

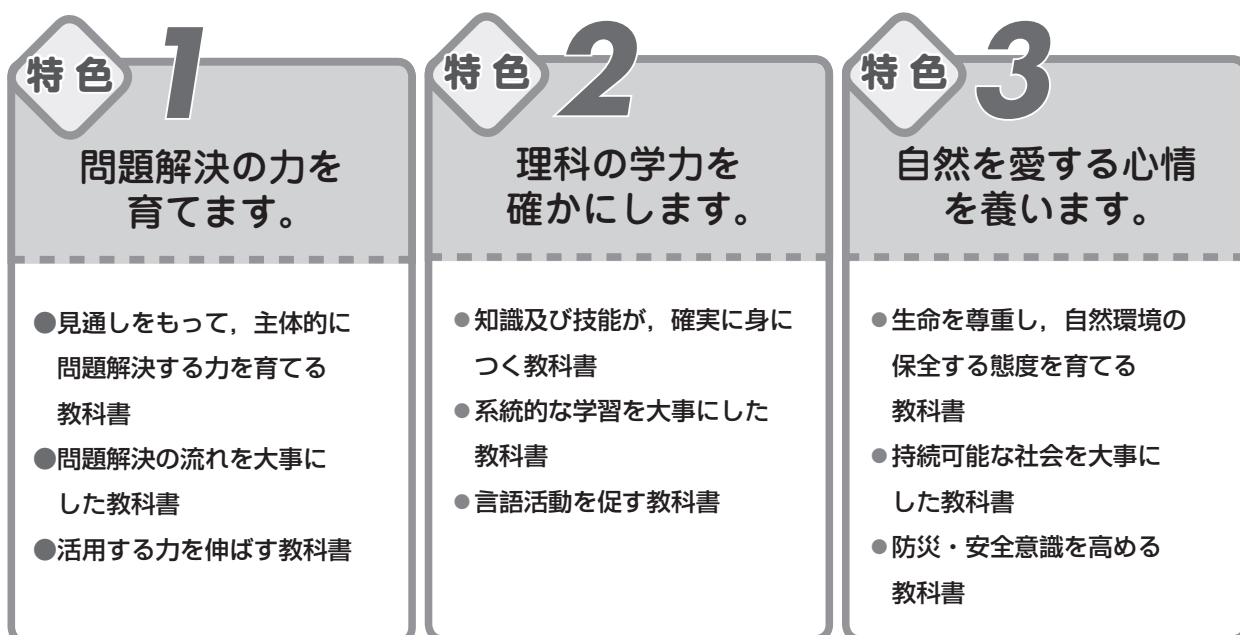
## ① 編修の基本方針

学校図書は、これからの社会の中で、子供たち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくためには、個々の考えを尊重し問題解決をしてゆき、共に高め合う力の育成が重要だと考えました。本教科書では、教育基本法に示された教育の目標を達成し、下記を編修理念に据え、育てたい資質・能力を以下のように整理しました。

### 多様性を前提とした問題解決能力の育成



これらをもとに、教科書は以下の3つの特色で構成されています。



# 1 問題解決の力を育てます。

## 1 見通しをもって、主体的に問題解決する力を育てる教科書

◆与えられる「問題」ではなく、子供が解決したくなるような導入や場面を設けました。

◎「4 電気のはたらき」

p.40-41

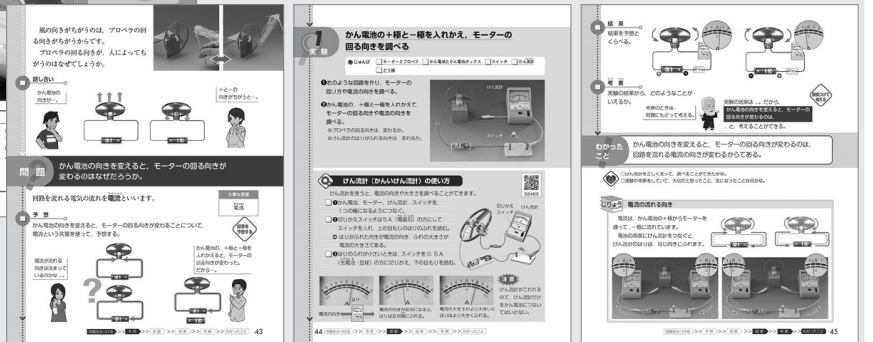


▶伝え合う中で、理科の見方・考え方を働かせてか  
がえることができるよう、生活科から理科の学び  
への入門期として、活動を設定しました。

p.43

p.44

p.45



導入



●やってみよう、知りたい、と興味を  
もつような導入で、子供の知りたい  
という意欲を引き出します。

観察  
・  
実験



●見るとき、伝えるときの  
理科の見方・考え方をもち  
に話し合いで共有します。

共に  
考える



●観察や実験をした  
後の話し合いで、  
学びを深めます。

新たな  
問いへ

## 2 問題解決の流れを大事にした教科書

◆問題解決の過程を繰り返し学びながら、自然な流れで問題を解決することができます。

◎「科学の芽を育てよう」：学年冒頭

p.4-5



◎「11 人の体のつくりと運動」：単元の流れ

p.180-182



学年  
冒頭



●問題解決の過程を8つのステップに表し、  
学年冒頭に示しました。共に学び、深め合  
うようキャラクターやマークで示し、本文  
と連携させています。

単元の  
流れ



●学年冒頭で示した流れは、そのまま学習の流れ  
になっています。頁左に示したステップは活動に  
沿って縦につながっており、更に活動や考える視  
点なども示しています。

### 3 活用する力を伸ばす教科書

※活動の中で学んだことを生かす場面を、随所に設けました。

つくってみよう!!  
空気てっぽうて玉を飛ばそう

体感を言葉に

●体感で得た気づきを言葉にして説明することによって、確かな理解につながります。

◎「3 空気と水」p.33

やってみよう!!  
温度計のしくみ

データの活用

●実験で得た、温度による体積の変化をもとに、温度計を自分で作ります。

◎「9 もの体積と温度」p.143

## 特色 2 理科の学力を確かにします。

### 1 知識及び技能が、確実に身につく教科書

※学ぶことを確認してから学び、更に振り返ることで、確かな学びにつながります。

◎「4年生で学ぶこと」 p.2-3

1年の見通し

●領域別に単元ごとの学習内容を示します。そこで働かせる見方・考え方などにも触れています。

◎「4年生で学んだこと」 p.202-203

1年間の振り返り

●学年末には、単元末で内容を整理して確認し、次の学年へつなげます。

次の学年へ

### 2 言語活動を促す教科書

※説明活動を随所に設け、「わかったつもり」ではない、より深い学びにつながります。

◎「10 もの温まり方」 p.173

●次のことがらを、空気の温まり方と関係つけて説明してみましょう。

エアコンを使うときの風の向きは、だんぼうにするときは下向きに調整するとよいとされています。その理由を、「エアコンの風の向き」、「あたたかい空気」という言葉を使って、説明してみましょう。

活用

くらしに生きる

羽の向きを変えて、エアコンの風の向きを変えている

●学びが、単なる暗記ではなく意味理解できているかを、具体的な場面や生活につなげた内容で説明することによって、もう一度振り返ったり、理解を深めたりすることができます。

### 3 系統的な学習を大事にした教科書

※学年間、当該学年の中でつながりのある内容について、明示しました。

◎「3年生で学ぶこと」 p.2-3

●同じ領域で、学びが生かせるものに関しては、総合タイトルをつけ、学びが継続するようにしました。

学びをつなぐ ◎「もののせいしつ」

- 3 空気と水 (もののせいしつ 1)
- 8 水の3つのすがた (もののせいしつ 2)
- 9 ものの体積と温度 (もののせいしつ 3)
- 10 ものの温まり方 (もののせいしつ 4)

●目次 (p.1) 以外にも領域ごとに内容を明示することによって、似たような見方が使えないかと考えられるようにしました。

## 特色 3 自然を愛する心情を養います。

### 1 生命多様性を感じ尊重し、自然環境の保全する態度を育てる教科書

※命と触れ合うことの喜びや、美しさに触れ、命を尊重する心を育みます。

◎「暑い季節」 p.73

しりょう セミが成虫となり、さかんに鳴く季節

暑い季節になると、セミのよう虫が地上に出てきて成虫になり、さかんに鳴いている様子を見ることができます。身の回りには、どんなセミがいるでしょうか。

成虫はすずしくなると見られなくなります。

◎「冬の星」 p.148

●春はバードウォッチング、夏はセミの観察、秋はアキアカネ、冬はロゼットや冬芽など、四季折々の生き物を紹介し、自然の中の生き物の様子に関心を持ち命の素晴らしさを伝えています。

●野外の美しい星の写真を掲載し、憧れを持ち興味がわくよう配慮しました。

### 2 防災・安全意識を高める教科書

※すべての観察・実験等の活動について、防災・安全意識が高まるようにしました。

身の回りの水のたまりやすい場所

雨のとき水がたまりやすい場所

安全を守るための工夫

◎「5 雨水の流れ」 p.66-67

●雨水の行方としみこみ方について学習し、身の回りの様子について、今一度確認したり、登下校の時などに気をつけるなどの活動を設けている。また、地下鉄などの水が入りやすい場所では、既に水が入り込まないように様々な工夫がされていることにも触れている。

●野外の危険な生き物などについては、よく見られる時期を示すだけでなく、事前にハチなどに襲われにくい服装や行動についても確認をしておくようにしている。

## 2. 教育基本法との対照表

教育基本法第2条	意を用いた点や特色	箇所
<p><b>第1号</b> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習内容をより深いものにするための知識や技能などをわかりやすく掲載するとともに、説明活動などの知識を活用する場を設けることにより、意欲を高め、学習内容が定着するよう配慮した。</li> <li>●観察する生き物との関わりの中で、命についての愛情や配慮について学び、観察している対象や共に学ぶ仲間など、相手の立場になって考える豊かな情操と道徳心を養えるよう配慮した。</li> <li>●導入を屋外で児童が活動している様子を提示することにより、意欲を喚起し、積極的な活動により、健やかな身体を養うよう配慮した。</li> <li>●学習内容に関連した資料や、科学者などの言葉を通して、少数意見も含めた多様な考えも尊重し、自己の学びや考えを深めてゆける、豊かな情操を育むよう配慮した。</li> </ul>	<p>表 2-1, 2-5,6-23, 68-75,102- 119,128, 129,153, 190-204,</p>
<p><b>第2号</b> 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を生かしたものの作りなどにおいて、個人の創造性を育むとともに、お互いの交流を通して個々の価値を認め、更なる意欲につなげられるよう配慮した。</li> <li>●身近な生活や仕事などに関連した教材を示し、学習内容とのつながりを持たせ、更なる興味を呼び起こし、学びを広げられるよう配慮した。</li> <li>●くらしや仕事に生かされている内容との関連をはかり、理科の学習の有用性を実感できるよう配慮した。</li> </ul>	<p>14,33,38, 40,46,55, 65、66- 67,71,117 143,147,</p>
<p><b>第3号</b> 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4人の成長するキャラクターと学年ごと1人の博士を設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮した。</li> <li>●活動写真に、男女のグループ写真を掲載し、協力しながら学習を行う様子を示すことにより、男女平等と協力の心をはぐくむよう配慮した。</li> <li>●学習において公共施設の活用を積極的に行うことにより、社会への積極的な参画に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。</li> </ul>	<p>1-204 26,87,88, 136,204,81 ,64,66-67, 87,</p>
<p><b>第4号</b> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●責任をもって育てる、観察する生き物への配慮を意識するなどの活動を通して、生命尊重、環境保全の心を育てるよう配慮した。</li> <li>●自然への配慮を呼びかけるだけでなく、自分にできることなどを考えさせることにより、持続可能な社会づくりに貢献できる態度を育成できるよう配慮した。</li> </ul>	<p>6-15,68-75, 118- 119,154- 161,192, 193,</p>
<p><b>第5号</b> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習内容に関連し、かつ生活や文化に関連するものを、国内外扱うことにより、自国を愛し、他国を尊重する態度をを養うよう配慮した。</li> <li>●様々な地域の写真を扱うことにより、自他共に尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した。</li> </ul>	<p>24,26,37, 39,40,55, 64,65,66, 67,76-81, 99,100, 134,148,</p>

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-108	小学校	理科	理科	4年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11学図	理科403	みんなと学ぶ 小学校理科		

## 1. 編修上特に意を用いた特色

### 特色

## 1 科学の芽が育つ教科書

### ① 学びの中でつきたい資質・能力を示しました。

※自らが見つけた問題に対して、どういう見方や考え方をすれば解決に向かうのか、理科ではどのような力を養うことができるのか。問題解決の流れに沿って、8つのステップにまとめ、それぞれの内容に合わせてつきたい資質・能力をマークで示しました。



知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性

### ② その中で、単元の中で主に育てたい資質・能力も、それぞれ明示しています。

※上記の学年でつきたい資質・能力の中から、各単元の冒頭で3つずつキャラクターとともに示しています。更に、学習後にはそれらの観点で学びを振り返ります。

◎ 「5 雨水の流れ」

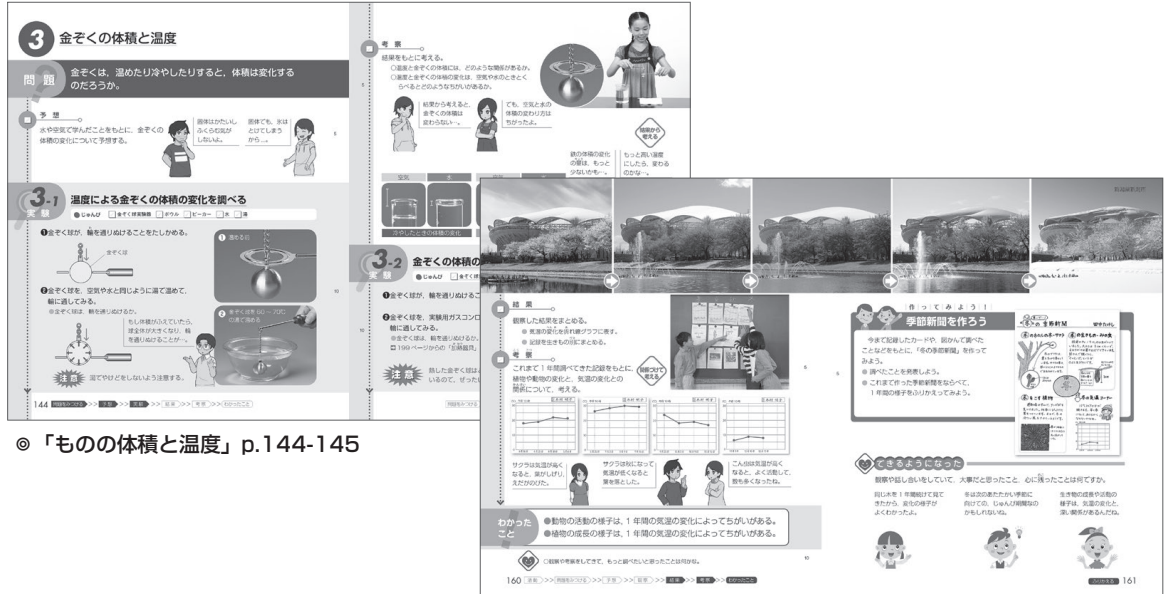
●単元冒頭

●学習後

# 2 対話を通して深く学べる教科書

## 1 自分の驚きを伝え合いたいという思いが、科学の芽を育みます。

❖自分の驚きや発見を伝え合いたい、その思いが表現力を育みます。



◎ 「ものの体積と温度」 p.144-145

◎ 「寒さの中でも」 p.160-161

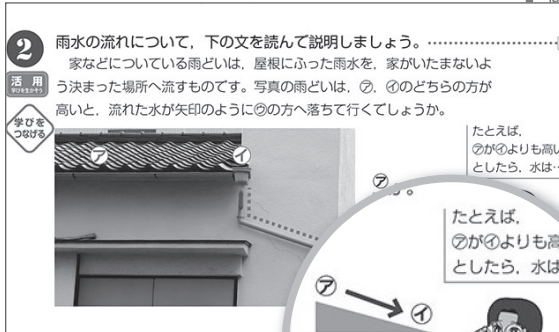
- 4年は結果をまとめ、そこから話し合い考察していきます。結果では、予想したことがいえない場合は、更に確かめるための実験を計画するなどします。

## 2 説明活動で、「わかったつもり」が、「わかった！」に。

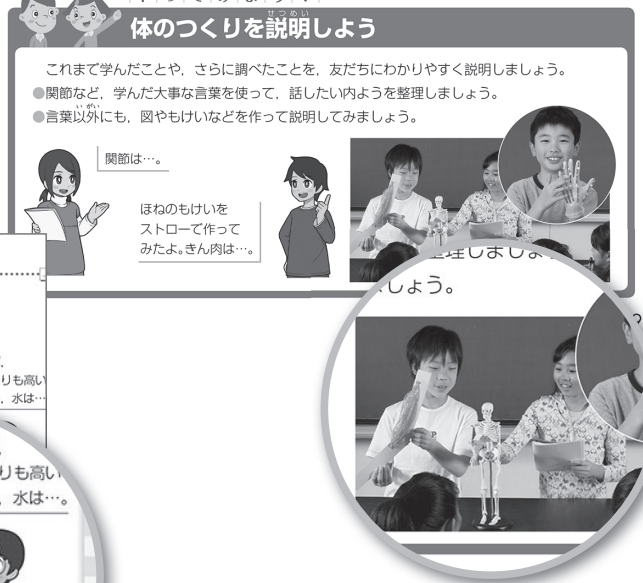
❖言葉だけの暗記、なんとなくの理解が、説明活動をすることで明らかになり、活動を振り返ることができます。

- 学びが、単なる暗記ではなく意味理解できているかを、具体的な場面や生活につなげた内容で説明することによって、もう一度振り返ったり、理解を深めたりすることができます。

◎ 「雨水の流れ」 p.65



◎ 「人の体のつくりと運動」 p.189



- 観察の結果からわかったことを伝わりやすいように工夫し、説明する活動により、新たな視点や気づきが得られることがあります。

# 3 学びをつなげる教科書

## 1 学んだことを、次の学びにつなげて生かします。

◆単元の中で完結するのではなく、あの考え方はここにも使えそうだなと生かすことができる子供を育てます。

**問題**  
地面やコンクリートなどにたまった水は、どこへいったのだろうか。

**1 水のゆくえを調べる**  
●水のゆくえを調べるには、容器に水を注ぎ、その水の量を測り、一定時間経過後に再び測り、水の量を比較する。水の量が減っている場合は、水が蒸発したと考えられる。水の量が変化しない場合は、水が蒸発しなかったと考えられる。

**1 水を熱したときの様子**  
ボットなどで水を熱していくときの様子を観察して気づいたことや、水を蒸らすときの様子を思い出して話しましょう。

**問題**  
水を熱すると、温度やそのときの水の様子は、どのように変化するか。

**1 水を熱したときの様子**  
●水を熱すると、温度が上がる。そのときの水の様子を観察し、温度と水の様子の変化を調べる。

自然の中の水  
p.113

水の3つのがた  
p.122-123

●容器に入れた水が、時間をおくとなくなっていることから、蒸発していることを学びます。

●日向に置いた水と日陰に置いた水は、蒸発する量に違いがあったことを思い出し、もっと温めればもっと蒸発するのではという予想の根拠として話し合いに生かします。

## 2 暮らしや仕事につなげます。

**暮らし**  
この水をおしても、体積はかわらず、ちぢまない。

**問題**  
この水をおしても、体積はかわらず、ちぢまない。

**観察**  
この水をおしても、体積はかわらず、ちぢまない。

**考察**  
この水をおしても、体積はかわらず、ちぢまない。

**結論**  
この水をおしても、体積はかわらず、ちぢまない。

**仕事**  
空気のはたらきを利用する。

**タイヤ**  
空気入りタイヤは、1845年イギリスのジョンソンによって発明されました。

**エアマット**  
この発明によって、お尻が痛くなくなった人々を救ったことも、空気のはたらきを利用した、マットの誕生につながっています。

**電気のはたらき**  
電池は、電気を発生させる装置です。

**電池の種類**  
乾電池、充電池、燃料電池などがあります。

◎「空気と水」 p.36-37

◎「電気のはたらき」 p.55

**問題**  
大雨の降る中、野球場などの土はぬかるんでしまい、使えなくなってしまう。そのたれ水でも速く水が流れ去るような、ゆるやかなかたむきをつくり、また水はけがよくなるように土の大きさを調節して水をまけるなどの工夫をしています。

**観察**  
大雨の降る中、野球場などの土はぬかるんでしまい、使えなくなってしまう。

**考察**  
大雨の降る中、野球場などの土はぬかるんでしまい、使えなくなってしまう。

**結論**  
大雨の降る中、野球場などの土はぬかるんでしまい、使えなくなってしまう。

◎「雨水の流れ」 p.64

●タイヤやボール、乾電池などの身近なものから、救助に使用するエアマット、グラウンドの土など、様々なものが理科の学びとつながっています。そのつながりを意識することによって、学びの有用性を感じたり、更に深めたりしたくなると思っています。



# 4 安心して使える教科書

## 1 ユニバーサルデザインでわかりやすく、安全に器具の使い方を習得できます。

※すべての子供が、見通しを持って学習できるような、レイアウトの工夫や、内容の厳選を行っています。

見しける  
聞伝える  
観察  
記録  
調べる  
実験器具の使い方

### 実験用ガスコンロ



02410

#### 火をつけるとき

<input checked="" type="checkbox"/> ① かくにんする ガスコンロにボンベがセットされているか、かくにんする。 ●ボンベが外れていたら、先生に知らせる。	
<input checked="" type="checkbox"/> ② のせる ごとくの上に金あみをのせ、その上に温めるものをのせる。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 火をつける 調節つまみをカチッと音がするまで左に回し、火をつける。 ●火がつかなかったら、「消」にもどしてやり直す。	
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 調整する 調節つまみをゆっくり右に回し、ほのおの大きさを調整する。	
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 火を消す 調節つまみを「消」まで右に回し、火を消す。 ●火が消えたばかりは熱くなっているため、コンロはさわらない。	

**注意 やくそく**

- 平らな安定したところへ置きます。
- × もえやすいものを、まわりに置けません。
- × 火がついているときは、持ち歩きません。

実験用ガスコンロや、ガスバーナーのほのおが出ている部分はとても熱くなっている。火を消したばかりの加熱器具は、すぐにさわらないようにしましょう。



◎ 「考えよう調べよう」 実験用ガスコンロ p.200

## 2 日々の防災意識につなげます。

### 身の回りの水のたまりやすい場所

実際に歩いて、雨などの水たまりのたまりやすい場所を探して書いていき、やがてたまりやすい場所がたまっていき、上までたまりやすくなる場所を探します。

水たまりのたまりやすい場所には、水たまりのたまりやすくなる場所を探して書いていきます。

水たまりのたまりやすい場所には、水たまりのたまりやすくなる場所を探して書いていきます。

この図は雨の降る時、水たまりのたまりやすくなる場所を探して書いていきます。

### 雨のとき水がたまりやすい場所

雨のとき水がたまりやすい場所を探して書いていきます。

雨のとき水がたまりやすい場所を探して書いていきます。

雨のとき水がたまりやすい場所を探して書いていきます。

### 安全を守るための工夫

地下鉄の駅など、低いところにある駅や地下道などは、雨のとき水がたまりやすくなります。安全を守るための工夫がされています。

地下鉄の駅など、低いところにある駅や地下道などは、雨のとき水がたまりやすくなります。安全を守るための工夫がされています。

◎ 「雨水の流れ」 p.66-67

● 今、どこまでできているかなどの時系列の関連をつかむことに難しさのある子供には、


- ・ 1工程ごとに写真と対応させる。
- ・ できたらチェックして確認する。

という方法が有効です。

◎ 「考えよう調べよう」 p.197

### じしんがおきたとき

- ① つくえの下にもぐるなどして、頭を守ります。
- ② 身をかくすところがない場合は、教科書やノートなどで頭をおおい、できるだけ低いしせいをとります。



● 学習した内容をそのまま終わらせるのではなく、自らの生活につなげる、日頃からの防災意識を持つなどの意識が大切だと考えました。

● また、理科室などで地震が起きたときなど、どのような対応を取ればいいのかを記載し、日頃から意識できるようにしています。

## 2. 対照表

単元名	学習指導要領	該当ページ	配当時数
1 季節と生き物の様子	B(2) ア(ア) (イ), B(2) イ	01～1, 6～15, 68～75, 102～109, 154～161 ページ	22 (20)
2 1日の気温と天気	B(4) ア(ア), B(4) イ	16～27 ページ	5
3 空気と水	A(1) ア(ア) (イ), A(1) イ	28～39 ページ	7
4 電気のはたらき	A(3) ア(ア), A(3) イ	40～55 ページ	7
5 雨水の流れ	B(3) ア(ア) (イ), B(3) イ	56～67 ページ	5
●わたしの自由研究	B(2) ア (イ), B(2) イ	88～89 ページ	1
6 月と星	B(5) ア(ア) (イ) (ウ), B(5) イ	76～87, 90～101, 148～152 ページ	14 (12)
7 自然の中の水	B(4) ア(イ), B(4) イ	110～119 ページ	6 (5)
8 水の3つのすがた	A(2) ア(ウ), A(2) イ	120～135 ページ	10 (9)
9 ものの体積と温度	A(2) ア(ア), A(2) イ	136～147 ページ	11 (9)
科学者の伝記を読もう	B(5) ア(ア) (イ) (ウ), B(5) イ	153 ページ	1
10 ものの温まり方	A(2) ア(イ), A(2) イ	162～177 ページ	9
11 人の体のつくりと運動	B(1) ア(ア) (イ) , B(1) イ	178～189 ページ	7 (6)
考えよう調べよう	全	190～201 ページ	
総授業時数 (精選時数)			105 (96)

### 【各単元の構成】

● 4年生で重視される問題解決の力を確実に身につけられるよう、配列及び内容を工夫しました。

1 季節と生き物の様子は、四季を通じた大単元構成としました。春の段階では、観察・記録をしていく中で、生き物の様子と温度との関係に気づき、続けて調べて行く計画を立てるよう構成しました。以降、常に前の季節と比較して気温の変化との関係に気づき、次の季節について予想をするよう構成しました。

2 1日の気温と天気では、日常の現象から問題をみつけるとともに、結果から考察を行う構成としました。4年生は基本この構成で単元が流れています。またここでは、折れ線グラフの書き方も学べるよう構成しました。

3 空気と水では、空気と水を比較して調べて行くなかで、自分の考えを自分なりの図にあらわして伝えることができるよう、構成しました。

4 電気のはたらきでは、電流の向きや大きさについて、モーターの回る様子と検流計の計測結果を関係づけながら、調べていくよう構成しました。

5 雨水の流れでは、校庭の水たまり周辺の高低差を調べる活動から、校庭全体を広くとらえることができるよう構成し、土による水のみしみ込み方では、つぶの大きさを図で示して考え、予想していくよう構成しました。また、単元末では防災教育とも関連させた内容を扱っています。

6 月と星では、月や星という天体に目を向け、好きになってもらえるよう、美しい星空の写真で構成しました。また87ページではプラネタリウムで働く人を、153ページでは天文学者としてのガリレオの伝記を扱っています。

7 自然の中の水では、次単元に先立ってまず「水蒸気」を扱うことによって、子供が間違えやすい「水蒸気」と「ゆげ」の関係について改善されることをねらって、配置、構成しました。

8 水の3つのすがたでは、実験結果を表やグラフに表し、考察していけるよう構成しました。

9 ものの体積と温度では、水、空気、金属の温度による体積変化を追究していく中で、141ページや144ページのようにあえて「よくわからない」結果が出るような実験をして、より変化がわかる器具を使ったり、より温度を高くして調べることで解決していくよう構成しました。

10 ものの温まり方では、金属、水、空気と、そのあたまり方の差異点や共通点をまとめていく中で、予想をもって問題にあたり、結果について考察し解決していくとともに、固体・液体・気体の性質についてまとめあげるよう構成しました。

11 人の体のつくりと運動では、自分達の体の骨や筋肉について、触って調べたり資料を活用したりして調べていくよう構成しました。

考えよう調べようでは、4年生で学ぶ理科の見方や考え方を示すとともに、計測器具の使い方等、基礎技能をおさえることができるよう、構成しました。

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 108	小 学 校	理 科	理 科	4 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 403	みんなと学ぶ 小学校 理科		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
25	気温の変化と太陽の動き	1	4年 B (4) ア (ア) 天気によって 1 日の気温の変化の仕方に違いがあること。	0.75
51	かん電池を 1 こ取り外しても、 モーターが回るつなぎ方	1	4年 A (3) ア (ア) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること。 内容の取扱い (1) 直列つなぎと並列つなぎを扱うものとする。	0.75
82 ~ 85	季節の星ぎを見よう	1	4年 B (5) ア (イ) 空には、明るさや色の違う星があること。	4
119	自然の中の水のめぐり	1	4年 A (2) ア (ウ) 水は、温度によって水蒸気や氷に変わること。 また、水が氷になると体積が増えること。	0.25
153	大地が太陽のまわりを回っている	1	4年 B (5) ア (ア) 月は日によって形が変わって見え、1 日のうちでも時刻によって位置が変わること。	0.25
170	温まった水は、なぜ上に行くか	1	4年 A (2) ア (イ) 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること。	0.5
176	温まって上にあがる空気	1	4年 A (2) ア (イ) 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること。	0.5
187	きん肉とほねをつなぐもの	1	4年 B (1) ア (イ) 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の動きによること。	0.25
合 計				7.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 … 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 … 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容